

# 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

名 称	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
調査実施日	平成25年1月31日(木)、2月1日(金)

## ②事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム山城荘 山城会デイサービスセンター	種 別	特別養護老人ホーム 通所介護事業所
代表者氏名	理事長 合田 秀實	定 員	70名
所 在 地	三好市山城町西字1227-4		

## ③総評

◇特に評価の高い点

<p><b>運営・経営状況の分析による課題の発見と改善に向けた組織的な取り組み</b></p> <p>○平成22年度から平成24年度の3か年における改善計画において、法人が目指すべき将来像としての目標を掲げている。組織体制や設備面、人材確保・育成、経営面等の現状分析を行って、課題や問題を明確に抽出し、管理者や幹部が主導的に問題解決に向けて取り組んでいることは高く評価できる。</p> <p><b>地域の福祉ニーズに基づく社会的役割の発揮と事業活動の周知</b></p> <p>○年4回、広報誌を発行している。法人や施設の福祉サービスの内容や活動状況、地域住民・ボランティアの声を掲載し、関係者や様々な機関、地域住民等へ配布している。法人や施設の有する機能を地域へと還元すべく、広報誌による周知を図って、様々な活動に取り組んでいることは高く評価できる。</p> <p><b>I Tの活用による効果的な運営管理</b></p> <p>○積極的にI Tの活用によるシステムを構築し、人事・就労管理や人事考課の管理、記録の共有化等を効果的に実施していることは高く評価できる。</p> <p><b>利用者のエンパワメント発揮に向けた支援</b></p> <p>○施設では、利用者の得意とすることや一人ひとりの有する力を発揮するための取り組みを行ったり、興味のあることやできることなどを支援したりして、興味や関心を促すための工夫を行っていることは評価できる。</p>
--

◇改善を求められる点

<p><b>施設の社会的存在理由や活動への理解を促進するための周知・広報・浸透手段の強化と統一化</b></p> <p>○各施設の理念や基本方針、事業計画、各種運営規定、マニュアル、活動状況等の情報を、利用者や家族、地域住民等へ周知し浸透を図ることは、施設の社会的存在理由や活動への理解を深め、実施する福祉サービスに対する安心感や信頼感を得ることに繋がる。今後は、法人や施設の有する伝達手段を見直すなどして、組織として統一された周知・広報・浸透手段を確保することが求められる。</p> <p><b>より詳細な手順書等の作成・共有化</b></p> <p>○利用者本位の福祉サービスを提供するため、様々なマニュアルを整備したり、組織体制を構築したりしているが、今後は、組織として求められる対応や計画の実施に係る手順書等を整備するなどして、さらに質の高い福祉サービスの提供と職員の資質向上、提供するサービスの十分な周知へと繋がりたい。</p> <p><b>I Tの活用による情報入手の円滑化と一元化</b></p> <p>○法人や施設として、各種規定やマニュアル、事業計画、記録、通知、通達等を整備し、職員へ発信しているが、必要ときに、必要な情報を円滑に入手することができるよう、今後はI Tの活用や携行化等も視野に入れた検討が望まれる。</p> <p><b>改善活動の定着・活性化による福祉サービスの質の向上に向けた取り組み</b></p> <p>○幹部会議等において、運営や経営、サービス等に関する評価・分析・見直し等の改善活動を行っている。今後は、施設や各種委員会、各会議ごとに改善活動を定着・活性化させ、提供する福祉サービスの安全確保や質の向上、効率化等に取り組むことが望まれる。</p>
--

## ④福祉サービス第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>今回、第三者評価を受審することについては、まだ早いのではないかとの意見が一部の職員から出ていましたが、当施設の福祉サービス提供の実施内容がこれでいいのか、職員自身が現状で満足しているのではないかと、またどのくらいのレベルにあるのかを知るために受審することとしました。</p> <p>評価を受けるなかで、評価調査者から各項目ごとの適切な意見や助言等をいただき、まだまだできていない、あるいは足りない部分が浮き彫りにされました。各マニュアルは一応整備していますが、それが十分に活用されていない面など、反省点が多々ありました。</p> <p>この受審を契機として、今後、より一層のサービス実施体制の改善に努めていかなければと思っております。</p>
--